

7. 大湊の造船業がいつから発達したのかは明らかでないが、周辺資料から、鎌倉時代には存在したことが十分推測される。木造船時代、大湊は全国有数の造船業地であった。この大湊の造船業史に関する次の説明の中に、間違った文が1つずつあるので、それを選んで、記号で答えなさい。

(61) 中世～近世

- (イ) 大湊の造船業は、大湊が神宮の外港として、廻船の拠点であったこと、朝熊山や宮川上流に巨木を得られたことで発達した。
- (ロ) 延元 3 (1338) 年北畠顕信らが、この地で 100 艘余の船を調えたと伝えられる。
- (ハ) 織田信長は石山本願寺との戦いに、九鬼嘉隆に命じ、この地で鉄甲の軍船を建造した。
- (ニ) 室町期から江戸前期にこの地で建造された船は、構造上「伊勢船」と呼ばれた。

(62) 近世

- (イ) 近代になって、大湊の造船業を担った市川、内田、強力、松崎、吉川の各造船所は、いずれも江戸期の創業である。
- (ロ) 造船業と船釘鍛冶は切っても切れない関係にあり、最盛期には、船釘、家釘鍛冶は 200 を超えたといわれる。
- (ハ) この時期、大湊では、知多半島の内海船、白子廻船など伊勢湾一帯の廻船業の造船基地として、弁才船（千石船）を建造した。
- (ニ) 神社港でも、盛んに造船が行われた。

(63) 近代

- (イ) 大湊の明治 5 (1872) 年の職業別戸数を見ると、総戸数 463 のうち、鍛冶 111、船大工 100 となっており、造船業地であったことが明らかである。
- (ロ) 明治 10 年代になると、市川造船所や、松崎造船所では洋式船建造を試みた。
- (ハ) 明治中期には国立の造船徒弟学校ができた。
- (ニ) 明治から大正にかけて、木造漁船の建造では、全国をリードした。

(64) 現代

- (イ) 昭和 50 年ころには、中大手の 6 社が競合し、最大 1 万トンまでの建造能力を有した。
- (ロ) その後、内田造船所や強力造船所は蓄積した技術をいかして関連異業種へ転向した。
- (ハ) 造船業の合理化が進む現在、伊勢市では、出口造船所、ニュージャパンマリン、南平造船所などが活動している。
- (ニ) 出口造船所やニュージャパンマリン社が建造している船舶は FRP 船である。

8. 伝統工芸に関する次の設問を読んで、それぞれ正しいものを選び、記号で答えなさい。

(65) 伝統工芸品には地元の最適な材料が使われますが朝熊黄楊を使用しているのはどれですか。

- (イ) ヨーヨー (ロ) ケン玉 (ハ) 提灯 (ニ) 根付

(66) 伊勢正直と呼ばれる匠が製作したものはどれですか。

- (イ) 鳴りこま (ロ) 根付 (ハ) 床几 (ニ) 煙草入

(67) お蝶殿の手車と呼ばれた土産ものを元祖とするといわれている玩具はどれですか。

- (イ) デンデンタイコ (ロ) コマ
(ハ) ヨーヨー (ニ) ケン玉

(68) 御師制度が廃止されて以後、御師龍大夫邸の跡地を製作場にしている地場産品はどれですか。

- (イ) 根付 (ロ) 神具 (ハ) 和紙 (ニ) 伊勢春慶

9. 次の図は、全国から伊勢をめざす街道が伊勢の国に入ってからルートと、主な中継点を示したものです。図中の中継点を、それぞれの地名群から選び、記号で答えなさい。



- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| (69) A | (イ) 関 | (ロ) 日永 | (ハ) 多気 | (ニ) 田丸 |
| (70) B | (イ) 相可 | (ロ) 明星 | (ハ) 田丸 | (ニ) 小俣 |
| (71) C | (イ) 名張 | (ロ) 大石 | (ハ) 滝原 | (ニ) 桑名 |
| (72) D | (イ) 尾鷲 | (ロ) 多気 | (ハ) 名張 | (ニ) 関 |
| (73) E | (イ) 多気 | (ロ) 阿保 | (ハ) 滝原 | (ニ) 波瀬 |

10. 市内の建築物に関する設問を読んで、正しい回答を選びなさい。

(74) 神宮農業館、神宮徴古館の設計者はだれか。

(イ) 吉田鉄郎 (ロ) 辰野真吾 (ハ) 白石円治 (ニ) 片山東熊

(75) この地域の民家の特徴である「刻み囲い」と呼ばれる外装材の樹種は普通何か。

(イ) クス (ロ) マキ (ハ) ケヤキ (ニ) スギ

(76) 古市のかつての姿を伝える麻吉旅館は斜面に沿って建てられているが、その構造様式は何と呼ばれているか。

(イ) セガイ造り (ロ) 懸樋造り (ハ) 切妻造り (ニ) 出し桁造り

11. 伊勢のまちづくりを振りかえると、20年に一度のご遷宮の時期と重ねて進められたことが多い。大きなイベントの実施も同様であるが、いつのご遷宮と重ねて進められたのか。回答群の記号で答えなさい。

(イ) 第58回ご遷宮：昭和4年 (ロ) 第59回ご遷宮：昭和28年

(ハ) 第60回ご遷宮：昭和48年 (ニ) 第61回ご遷宮：平成5年

(77) 県道鳥羽松阪線の整備（当時の参宮有料道路の開通）

(78) 世界タートルマラソン大会

(79) 全国高校総合体育大会

(80) 神都博覧会

(81) 第1回神宮奉納大相撲

(82) 参宮急行電鉄開通

12. つぎの二見浦に関する説明を読んで、(83)～(86)は()にふさわしい名称を、(87)～(89)は正しい答えを、それぞれ回答群から選んで、記号で答えなさい。

二見浦は(83)の河口今一色の高城浜から東へ、(84)に至る約3.8kmの浜をいう。古来、清渚として知られ、参宮客が垢離をとりに訪れたことから、早くより茶屋が建てられ、その後、宿泊地として発展した。また、この地は日本最初の公認海水浴場でもあった。明治36年(1903)山田との間に路面電車が開通、また、明治44年(1911)国鉄が開通すると、駅から(85)に至る間に、旅館、土産物店の並ぶ街が発達した。近年、自動車交通が主流となると、夫婦岩東方の江海岸が埋め立てられ、水族館(86)を核とする観光施設ができ、にぎわっている。

- (83) (イ) 五十鈴川 (ロ) 宮川 (ハ) 外城田川 (ニ) 勢田川
- (84) (イ) 神前崎 (ロ) 鎧崎 (ハ) 立石崎 (ニ) 石鏡崎
- (85) (イ) 御塩田神社 (ロ) 堅田神社 (ハ) 高城神社 (ニ) 興玉神社
- (86) (イ) 戦国時代村 (ロ) 安土桃山文化村
(ハ) 二見シーパラダイス (ニ) 夫婦岩パラダイス
- (87) 二見浦は指定文化財として登録されているが、区分上つぎのどれに該当するか。
(イ) 国指定天然記念物 (ロ) 県指定天然記念物
(ハ) 国指定名勝 (ニ) 県指定名勝
- (88) 神苑会が、明治20年(1887)貴賓客接待のために建築した宿泊施設は、つぎのどれか。
(イ) 朝日館 (ロ) 二見館 (ハ) 賓日館 (ニ) 臨海楼
- (89) 二見浦が日本最初の公認海水浴場に指定されたのはいつか。
(イ) 明治5年 (ロ) 明治15年 (ハ) 明治38年 (ニ) 大正3年

13. 伊勢の風習に関する下記の設問に答えなさい。

(90) 注連縄の木札に記す文字の欠けている部分「○○将来子孫家門」に正しい文字を補いなさい。

(イ) 巨旦 (ロ) 蘇民 (ハ) 笑門 (ニ) 八幡

(91) 神宮への「ついたち参り」「みそか参り」の風習はいつごろから定着したといわれますか。

(イ) 江戸時代中期 (ロ) 江戸時代末期 (ハ) 明治以後 (ニ) 戦後

14. 市内に散在する名所、旧跡、まちかど博物館などの位置関係が、指示にしたがって正しく並んでいるのはそれぞれどれか、記号で答えなさい。

(92) 宮川の下流に向かって並べなさい。

A 山田奉行所記念館 B ゴーリキアイランド C 尾崎号堂記念館
(イ) ABC (ロ) BCA (ハ) CAB (ニ) CBA

(93) 勢田川の下流に向かって並べなさい。

A かどや民具館 B 河崎商人館 C みなとまち館
(イ) ABC (ロ) BAC (ハ) CAB (ニ) CBA

(94) 勢田川の下流に向かって並べなさい。

A 春慶塗デザイン工房 B 汐湯おかげ風呂 C 和具屋
(イ) ABC (ロ) BCA (ハ) BAC (ニ) CAB

(95) 内宮に向かって並べなさい。

A 伊勢一刀彫会館 B 中山寺 C 猿田彦神社
(イ) ABC (ロ) BAC (ハ) CAB (ニ) CBA

15. 市内を流れる川には別名のあるものが多い。別名はそれなりに、由来がわかるなど興味が深い。下記の設問の別名は、それぞれどの川の名か、記号で答えなさい。

(96) 昔、倭姫命が御裳の裾を濯ぎ給うたことから御裳濯（みもすそ）川という。

(イ) 宮川 (ロ) 五十鈴川 (ハ) 勢田川 (ニ) 汁谷川

(97) 伊勢神宮に献上する魚を獲ったので御贄（おんべ）川といった。

(イ) 五十鈴川 (ロ) 勢田川 (ハ) 汁谷川 (ニ) 外城田川

(98) 離宮院に沿って流れているので、離宮川と呼んだ。

(イ) 汁谷川 (ロ) 外城田川 (ハ) 宮川 (ニ) 五十鈴川

16. 内宮前界限の名所などに関する下記の説明の中に間違ったものが、それぞれ1つずつあります。それを選んで、記号で答えなさい。

(99) (イ) 旧林崎文庫は、江戸期、宇治の神官や御師の学問所兼文庫であった。

(ロ) 祭主職舎は、明治元年の神仏判然令以前は慶光院という尼寺であった。

(ハ) 神宮会館は、神宮司庁が直営する宿泊施設である。

(ニ) おかげ横丁には、伊勢になじみの深い俳人山口誓子俳句館がある。

(100) (イ) おかげ座は、江戸時代におかげ参りで人々が伊勢に集まった様子をそのままの大きさの人形で再現している。

(ロ) 五十鈴塾では、日本の伝統文化について、学ぶことができる。

(ハ) 俳諧の祖荒木田守武の屋敷跡、墓地、句碑が散在している。

(ニ) 伊勢玩具畑井工房は、伊勢まちかど博物館に登録されている。